



〈編集・発行〉  
独立行政法人 国立病院機構  
奈良医療センター  
<https://nara.hosp.go.jp/>

# りえぞん

Liaison

vol.43

独立行政法人国立病院機構 奈良医療センター

令和2年8月

医療関係者の皆様へ 「りえぞん」(Liaison)とは、フランス語で「連携・つなぐ」といった意味をもちます。  
奈良医療センターは、地域の医療機関との連携を深め地域医療の推進に努めていきたいという思いで付けました。

### 病院理念

私たちは、質の高い医療を提供し、地域の皆様の健康を支援することにより、信頼される病院を目指します

### 令和2年度 病院目標

呼吸器疾患と神経疾患を中心とした「面倒見のいい病院」の機能を高める

## 入館前検温しています！



Contents

- 当院の特色を生かしながら、すべての患者さんが安心して療養できる診療体制をめざして 副院長 玉置伸二 ——— 2
- 各科の紹介 ——— 3・5
- 院内売店のお知らせ ——— 5
- 連携施設のご紹介コーナー VOL.5 ——— 6

# 当院の特色を生かしながら、すべての患者さんが 安心して療養できる診療体制をめざして



副院長 玉置伸二

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）はわが国においても猛威を振るい、楽しみにしていた東京オリンピックも1年間延期が決定してしまいました（私事ですが、当方は前回の東京オリンピックの年に産声を上げていますが、もちろん当時の記憶はありません）。さらに本年の4月7日に東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の都府県に緊急事態宣言が行われ、4月16日には対象が全国に拡大されました。その後、外出の自粛などさまざまな行動制限が要請され、国民全体による感染防止策の徹底により感染者数は減少に転じ、5月25日には全ての地域で緊急事態宣言は解除されました。しかしながら、世界では米国、ブラジル、ロシアなどで感染者数は増え続けており、わが国においても社会・経済活動の再開に伴い、首都圏を中心に新規感染者数は再び増加傾向となりました。奈良県においても38日ぶりに新規感染患者が確認され、その後も新たな感染者が連日確認され、予断ができない状況となってきました。どうやらこのウイルスとの戦いは、少し長い期間を要するようです。私たちの病院とゆかりも深い、薬師寺のご本尊である薬師如来は「人びとの病気や災難を除き、健康と幸福を与えてくださる仏様」とされています。この難局を乗り切るために、少しお力をお借りしたいところではあります。

当院は重症心身障害児（者）、筋ジストロフィーを含む神経難病患者さんなどに対するセーフティーネットワーク系医療を担当しており、これらの患者さんは新型コロナウイルス感染症に罹患すると重症化することが予想されます。このため、院内感染対策は特に重要になります。当院では標準予防策、接触感染対策、飛沫感染対策などを徹底して行っています。感染管理看護師をはじめとする感染対策チーム（ICT）により、全ての職員に対して手指衛生の重要性、個人防護具の着脱および使用方法、日常の健康管理などについて繰り返し指導を行っています。全職員が日々の感染対策の重要性を認識することができたのは、新型コロナウイルス感染症の流行を契機にしたものであり、不幸中の幸いであつたと考えております。

当院では毎週「COVID-19対策会議」を開催しており、日々変動する国内の感染状況などを踏まえて感染対策について協議しています。現時点では感染管理、安全確保の面からも全ての病棟で面会を禁止させて頂いています。特に面会を楽しみにされている重症心身障害児（者）、神経難病のご家族には非常に心苦しく思っております。まずはIT機器を用いたテレビ面会を開始しており、大きな反響を頂いています。今後の面会制限につきましても、感染動向を踏まえて検討していきたいと思っております。

今後も相当の期間は、「新しい生活様式」を実践することが全ての国民に求められています。当院では第2波、第3波にも備えつつ、患者さんと職員の安全確保を図りながら、地域の皆様に必要とされる医療を提供していきたいと思っております。十分な感染対策を行いながら、当院の重要な使命でもありますセーフティーネットワーク系医療の診療、また当院の特色でもあります脳神経疾患、呼吸器・アレルギー疾患などに対する診療を提供し、地域包括ケアシステムを支える「面倒見のいい病院」をめざして行きたいと思っております。

新型コロナウイルス感染症への対策は今後も長期間必要となると思われませんが、すべての患者さんが安心して療養できるように、また地域の皆さまに信頼して頂けるように診療体制を整えていく所存ですので、ご理解およびご協力の程、何卒よろしくお願い致します。



# 各科の紹介

## 【脳神経外科】

パーキンソン病・振戦・痙縮などに対する機能脳神経外科、てんかんの治療、脳卒中・頭部外傷亜急性期治療など外科手術からリハビリにいたるまで幅広い治療を行っています。薬だけではコントロールしにくい時、急性期治療が終了しても様々な問題が生じる時など当院で治療可能な病態であれば、『面倒見がいい』をモットーに丁寧に相談に応じ、追加の適切な治療をいたします。

視床破碎術の様子です。意識下で、状態を聞きながら破碎する部位を決めています。



## 【脳神経内科の特殊治療】

脳神経内科では他院でおこなわれていない特殊な診断や治療をおこなっています。神経の病変部位を検査する電気生理検査、不随意運動や脳卒中後の麻痺にたいしておこなうボツリ又ス治療、脊髄性筋萎縮症にたいする又シネルセン髓注などです。

- 左記の検査ができます。
- ①：神経電動検査・針筋電図等
  - ②：経頭蓋磁気刺激
  - ③：閾値測定法



脳神経内科の診察室です。特殊な器械がたくさんあります。

## 【呼吸器内科】

呼吸器疾患センターでは、肺結核・肺非結核性抗酸菌症・肺炎などの呼吸器感染症、肺がん、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、睡眠時無呼吸症候群、気管支喘息など幅広い疾患を対象に診療を行っています。慢性呼吸不全の患者さんには、亜急性期から慢性期まで対応できる当院の特色を活かして、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床工学技士、薬剤師、管理栄養士など多職種による包括的な呼吸リハビリテーション・呼吸療法を行っています。



**(入院時多職種カンファレンス)**  
入院して間もなく、医師、理学療法士、薬剤師、栄養士、MSW、病棟看護師が、患者さんの今後の方向性やどのような関りが必要になるのが、多方面から考えます。

## 【神経・筋難病】

筋ジストロフィー(40床)・神経難病(50床)の患者さんたちの入院をうけいれています。50年の経験があり、多職種がかかわります。自宅療養も積極的に推進し、看護師の訪問をおこない、在宅が困難になった時のレスパイト入院もうけいれています。

神経・筋難病・筋ジストロフィーでの療養入院についてのご相談窓口は、療育指導室になっています。

療育指導室でハロウィーン行事の様子です。



## 【重症心身障害児(者)】

重症心身障害患者様の外来診察・長期入所・短期入所・通所事業支援を行っています。重症心身障害には、様々な合併症があります。神経系の異常(てんかん・筋緊張の問題など)・呼吸器系の異常(反復性の肺炎・胸郭変形等による呼吸の問題など)・消化器系の異常(嚥下障害など)が挙げられます。医療的なかわりを主にしつつ、多職種が、患者様とその家族の生活を支え、豊かにするために、様々な専門的な関わり(相談・リハビリ・保育)をしています。



エアートランポリンによる保育の一場面です。はずむ感覚に皆さん笑顔です。

**【こんな時はご紹介ください！】**

- ・脳梗塞後や神経・筋難病による痙縮
- ・パーキンソン病の外科的治療
- ・てんかん検査
- ・正常圧水頭症や慢性硬膜下血種の手術
- ・間質性肺炎や慢性呼吸不全
- ・結核疑いや結核治療
- ・整形外科の骨折手術
- ・神経・筋難病や重症心身障害の療養について
- ・耳鼻科手術
- ・嚥下検査及びリハビリ

等

**院内売店のお知らせ** (営業時間が変わりました)

**営業時間：平日 8：00～18：00**  
**土・日祝日 10：00～15：00**



★衛生材料の取り扱いをしています。在庫がない場合は取り寄せも可能なためお問い合わせください。

〔 注入ボトル・注入用シリンジ・  
 内服注入用懸濁ボトル・  
 カテーテルホルダー・口腔ケア用品等 〕

★自家製天然酵母手作りパンを火曜日～金曜日11時頃より販売しています。希望があれば取り寄せ・取り置きもできます♪



**他にも・・・**

クロネコヤマト宅急便を  
取り扱っています

切手・レターパック販売  
しています

ファックス・コピーもできます

なるべく新商品を取り揃える  
ようにしています

淹れたてコーヒーを販売  
しています (HOT・アイス)



税込み100円

**一度売店に寄ってみてください。**



# よもさ痛みのクリニック

よもさ ひろちよ  
右衛門佐 博千代 院長

麻酔科医としてまたペインクリニック医、救急医、ICU医として勤務後、2007年によもさ痛みのクリニックを開院いたしました。その経験を生かして少しでも患者様のお役にたてるように努めています。お陰様で開院して13年経過いたしました。ペインクリニックって何？といわれることもあります。いろいろな方法で痛みを取り除いて皆様が快適に日常生活を送れるようにお手伝いするクリニックです。もちろん万能ではないです。規模は小さいですが心のこもった診療を目指しています。お気軽にご相談ください。神経ブロック療法だけでなく漢方薬治療にも力を入れてあります。御予約も可能です。今後も研鑽を積んで最適な医療を提供していきたいとおもっています。どうぞよろしくお願いたします。



診療科目：麻酔科（ペインクリニック）、内科

診療時間：月・火・木・金曜日 午前診 8:30～11:30

午後診 15:30～17:30

土曜日 午前診のみ 8:30～11:30

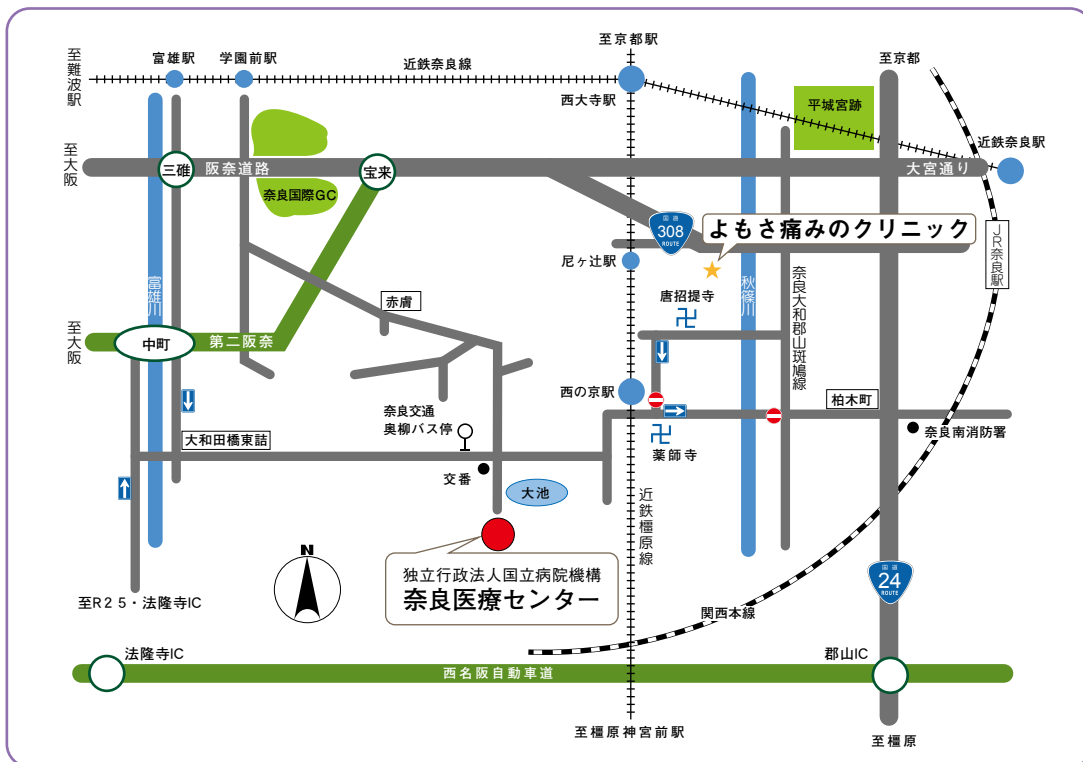
水曜日、日曜日、祝日は休診

TEL：0742-32-5550

専門分野 ペインクリニック（痛みの治療）

可能な検査 レントゲン撮影、心電図、骨密度測定など

駐車場 第1.2駐車場 13台



独立行政法人 国立病院機構  
**奈良医療センター**  
地域医療連携室

〒630-8053  
奈良市七条2丁目789  
TEL.0742-45-4591（代表）  
TEL.0742-45-1563（直通）  
FAX.0742-45-4901（直通）